

中海 湖沼環境モニター一通信

平成23年7月

第4期モニター中間結果 (第3四半期:平成23年4月~6月)

毎月の報告ありがとうございます。第3四半期の調査結果(7月5日到着分まで)を集計しました。引き続きよろしくお願いいたします!

赤色の数字・・・良かった (満点の8割以上)
 青色の数字・・・悪かった (満点の半分未満)

五感	項目 (満点)	①	②	③	④	⑤
		湊山公園 付近	水鳥公園 付近	ウインズ 米子付近	中海干拓 地付近	西工業団 地付近
見る	澄み具合 (20点)	7.6	13.8	8.4	11.7	10.7
	ゴミ (20点)	7.1	13.8	7.0	6.3	13.5
	景観 (10点)	7.5	7.5	7.9	10.0	6.8
聞く	音 (10点)	6.8	7.7	8.9	10.0	6.7
嗅ぐ	臭気 (20点)	10.9	16.2	17.4	20.0	16.7
味わう	魚介類 (10点)	2.9	7.8	3.3	5.0	7.5
触れる	感触 (10点)	3.8	7.0	5.4	5.7	7.8
合計 (100点)		46.6	73.8	58.3	68.7	69.7
ランク		(C)	(B)	(B)	(B)	(B)
COD		6.9	5.5	5.4	4.3	4.3
モニター名		Aさん、B さん、Cさ ん	Dさん、E さん、Fさ ん	Gさん、H さん、いさ ん	Jさん	Jさん、K さん

(参考)

第1四半期 (10月~12月)	五感合計(点)	78.3	62.8	59.3	64.0	63.1
	COD(mg/L)	5.2	4.0	5.3	5.0	3.8
第2四半期 (1月~3月)	五感合計(点)	51.5	70.9	60.9	69.7	75.0
	COD(mg/L)	4.4	3.3	5.0	4.7	4.2

モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

- 【①湊山公園 5月】ごみが多く、水も汚れていた。
- 【 〃 6月】雨上がりで湖水は茶色く濁っていた。CODが初めて8mg/L以上になった。
- 【②水鳥公園 4月】透明度を測った。水がきれいだった。
- 【③ウインズ 4月】大山が残雪で美しい。
- 【 〃 5月】ヨシ(アシ)が大量に漂着していた。
- 【 〃 6月】景観は幻想的に感じたが、水は濁り、ごみは散乱していた。
- 【④中海干拓地 6月】例年この時期に多く発生する海藻がわずかしか見られないが、透明度が増してきたことから、さらなる水質浄化のためにも海藻の発生が待たれる。
- 【⑤西工業団地 5月】雨による陸からの流入で湖水が茶色く濁りがひどい。
- 【 〃 6月】型の良いアジが釣れている。例年大量に発生するアマモが今年はわずかであり、冬の大雪による水温低下が海藻(海草)にかなり影響したと思われる。

調査状況写真（水鳥公園）

雨上がりの湖水は汚れていて、CODの結果が悪かった

透明度を測った



水位が低かった。ゴミやヨシ(アシ)が散乱



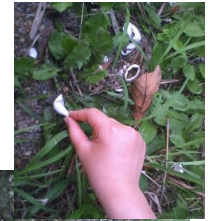
いろいろな生き物に出会った



アリの行列



カイツブリの巣作り



カメが残した穴を見つけた。卵の殻を触ったら柔らかかった

6月12日、「中海・宍道湖一斉清掃」が行われました

今回の調査でも「ごみが多い」「ヨシ(アシ)が大量に漂着」といった報告が多く寄せられています。ふだんは、湖面の浮遊ごみや漂着ごみは国土交通省が船で回収したり、湖岸では中海アダプトプログラム参加の皆さん等が清掃活動を行っていますが、この日は大勢の市民が汗を流して清掃しました。

8,000人で18トンのごみを回収

中海・宍道湖一斉清掃は、中海と宍道湖がラムサール条約湿地に登録されたのを記念して、平成18年から毎年6月に実施しており、今年で6回目です。

両湖沿岸5市2町の約8,000人が参加し、1時間ほどの清掃作業で、プラスチックごみや空き缶、枯れて漂着したヨシ(アシ)など約18トンのごみを回収しました。

<彦名干拓地での清掃活動の様子>

この場所では、中海アダプトプログラム参加団体が清掃活動を行いました。筆者も参加しましたが、30分ほどで大きなごみ袋2つがいっぱいになりました。



一人ひとりの力は小さくても、拾った分だけごみは減ります。この日は大勢の力が合わさって、中海・宍道湖は確実にきれいになったと思います。

6月26日、「中海オープンウォータースイム2011」開催

「中海の環境や活用方法を市民の方々と一緒に考える機会になれば」との思いを込めて平成14年、「10年で泳げる中海に」を合い言葉に発足した「中海再生プロジェクト」の活動10年の節目に開催されました。(主催：NPO 中海再生プロジェクト)



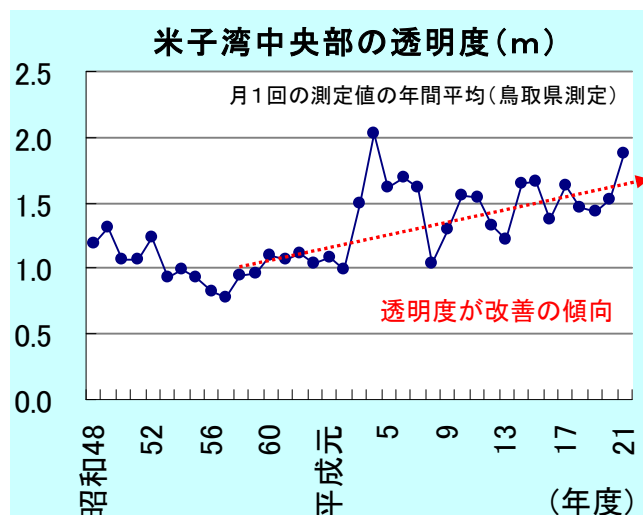
NPO 中海再生プロジェクトは、「中海体験クルーシング・環境フェア」、「中海アダプトプログラム」、「中海夕暮れコンサート」など中海の環境保全や利活用の取組を行っており、開会式で内藤理事長は「活動10年目でたくさんの方が泳いでくれるのがうれしい。これからも私たちの手でよりよい中海にする取組を続けていきましょう」とあいさつしました。

74名の選手が参加。－米子湾を泳いだ感想は？－

選手は、安来市島田をスタートし、米子市湊山公園までのコース約3kmを泳ぎました。参加者からは「泳ぎやすかった」「思っていたよりきれいだった」「においもほとんど感じなかった」と水質改善を実感する声も聞かれました。(筆者も泳ぎました)



米子湾は中海の中でも水質が悪く、湖沼環境モニターの点数も低い地点です。親しみやすい水環境を目指してまだまだ水質改善などに取り組んでいかなければなりません。鳥取県が定期的に行っている水質調査においても、透明度などの項目で少しずつですが改善の傾向が見られています。



モニター交流

ゴールデンウィークの5月3日、モニターのEさん家、Fさん家、Kさんと一緒に中海(境水道近く)に出かけました。

黄砂の影響で遠景がかすんでいましたが、凧(なぎ)で釣りには気持ちいい天気でした。時季的なこともあって釣果はいまひとつでしたが、船に乗ったり、中海を見ながらみんなで昼食を食べたり、楽しいひとときでした。

なかなか釣れない…。 自然が相手なので、こんな時もあります。



それでも根気強くねばって、3匹ほど釣れました。

アジが釣れました



メバルが釣れた!



セイゴです



(担当) 鳥取県西部総合事務所 生活環境局 環境・循環推進課